

第37期 定時株主総会 事業報告

招集ご通知は右のQRコードから当社ホームページに
アクセスいただくことでご覧いただけます。

<https://www.watami.co.jp/ir/>



もしくは



watami

地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう

第37期 定時株主総会 事業報告

- 1) グループ全体業績
ワタミ株式会社 取締役CFO 渡邊 将也
- 2) 主力事業の取り組み（国内外食事業、宅食事業、海外外食事業、その他）
ワタミ株式会社 代表取締役会長 兼 社長 渡邊 美樹



みなし配当にかかる源泉徴収金額等の計算イメージ

(誤)

一株あたり 配当金額	内訳	
7.5円	0.3793058385 円	みなし配当 以外
	<u>7.1206941615 円</u>	みなし配当 (配当所得となり 源泉徴収等 の対象)

(正)

一株あたり 配当金額	内訳	
7.5円	3.2240996053 円	みなし配当 以外
	<u>4.2759003947 円</u>	みなし配当 (配当所得となり 源泉徴収等 の対象)

第37期 定時株主総会 事業報告

- 1) グループ全体業績
ワタミ株式会社 取締役CFO 渡邊 将也
- 2) 主力事業の取り組み（国内外食事業、宅食事業、海外外食事業、その他）
ワタミ株式会社 代表取締役会長 兼 社長 渡邊 美樹



グループ全体業績

2023年3月期
実績

取締役CFO

渡邊 将也

1. グループ業績：2023年3月期 実績

国内外食事業及び宅食事業が対前年で大きく改善した結果、営業利益で50億円の改善。
助成金収入が37億円減少となった一方、特別損失も25億円減少し、当期純損益も35億円の改善

	① 23年3月期 (実績)	② 22年3月期 (実績)	①-② 前期比 増減	①÷② 前期比 率
売上高	779.2	643.6	135.5	121.1
営業損益	14.7	▲ 35.7	50.5	—
経常損益	38.8	26.6	12.1	145.7
当期純損益	16.7	▲ 18.4	35.1	—
一株当たり 当期純損益 (円)	41.3	▲ 45.5	86.8	—

単位：億円・%（▲は損失）

2. 事業セグメント別：2023年3月期 実績

国内外食事業はコロナからの回復が見られ増収増益。

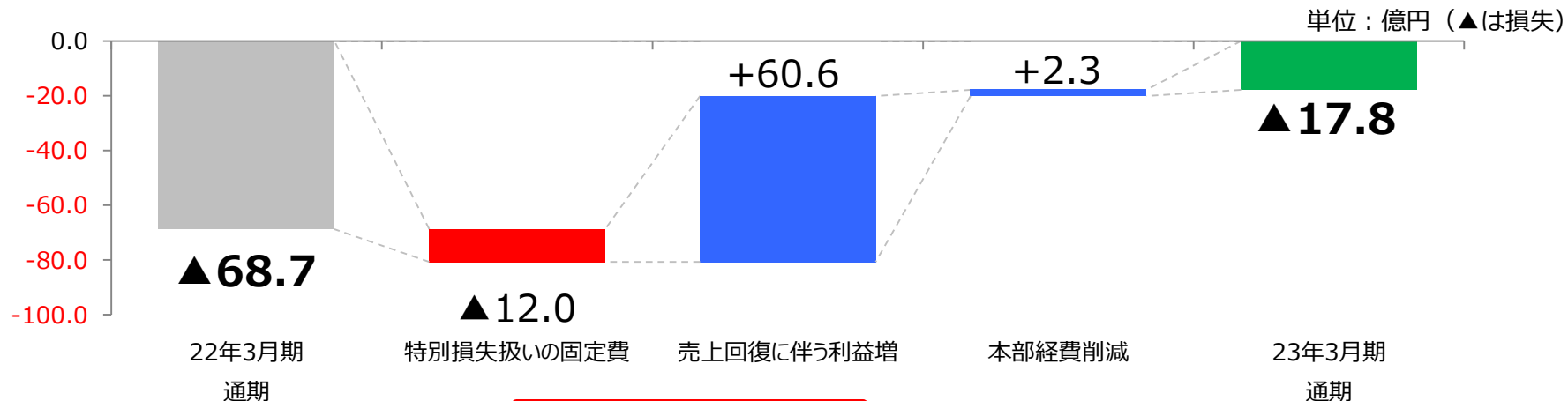
宅食事業は食数増により増収増益、海外外食事業は香港のゼロコロナ政策により減益。

		23年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	前期比 増減	前期比 率
国内外食事業	売上高	252.8	151.1	101.6	167.2
	営業損益	▲ 17.8	▲ 68.7	50.8	—
宅食事業	売上高	437.6	406.4	31.1	107.7
	営業損益	57.2	50.7	6.5	112.8
海外外食事業	売上高	53.0	52.9	0.1	100.2
	営業損益	▲ 6.1	0.4	▲ 6.5	—

単位：億円・%（▲は損失）

3. 業績要因：①国内外食事業

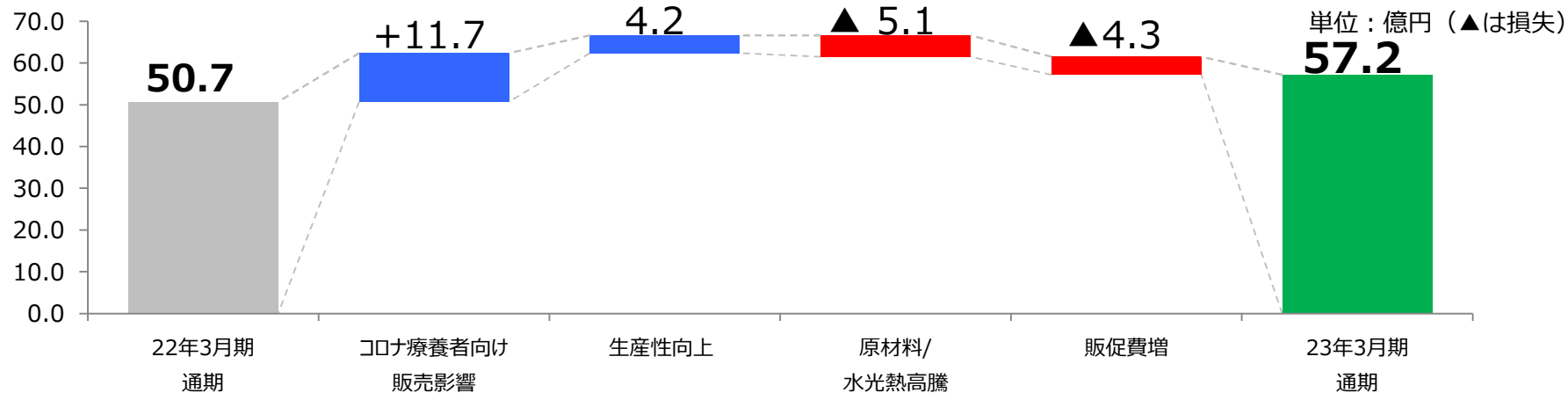
新型コロナウイルス感染の影響が前年に比べ緩和し、
対前年で50.8億円の改善、営業損益は▲17.8億円で着地。



	① 23年3月期 (通期 実績)	② 22年3月期 (通期 実績)	①-② 前期比 増減
新店 店舗数	17	49	▲ 32
転換 店舗数	1	7	▲ 6
撤退 店舗数	75	75	0
期末店舗数	347	405	▲ 58

3. 業績要因：②宅食事業

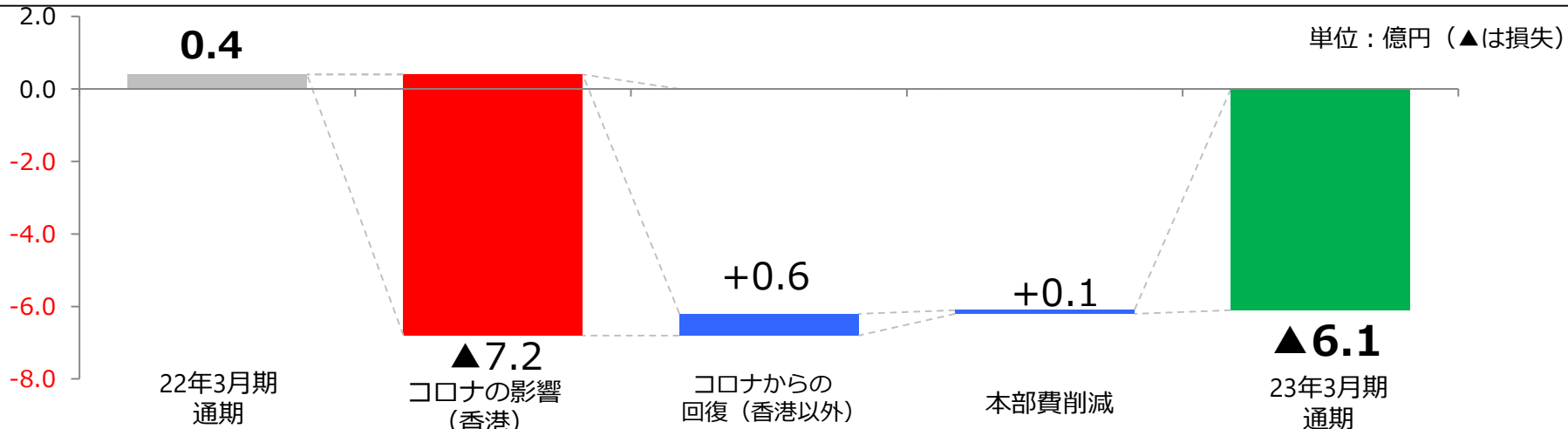
コロナ療養者向けの配食が大きく増加する一方、原材料・水光熱が高騰。
対前年で6.5億円の改善、営業利益は57億2千万円で着地。



	① 23年3月期 (通期 実績)	② 22年3月期 (通期 実績)	①-② 前期比 増減
期末まごころスタッフ数 (人)	7,236	7,858	▲ 622
累計調理済食数 (千食)	62,368	62,279	▲ 89
新規拠点開設数	0	7	▲ 7
統廃合拠点数	6	0	6
期末拠点数	525	531	▲ 6

3. 業績要因：③海外外食事業

ゼロコロナ政策により香港でロックダウンの期間が発生。
今期は6.1億円の赤字。対前年で6.5億円の悪化。



	① 23年3月期 (通期 実績)	② 22年3月期 (通期 実績)	①-② 前期比 増減
新店 店舗数	13	9	4
転換 店舗数	0	0	0
撤退 店舗数	13	8	5
期末店舗数	50	50	0

4. 財務状況：2023年3月期 実績

自己資本比率は30.9%。

ネットDELレシオは▲0.48となり、財務的な安定性は確保

	23年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	増減
現預金	315.0	308.2	6.8
借入金残高（有利子負債）	231.0	228.5	2.5
自己資本	176.5	144.4	32.1
総資産	570.5	522.2	48.3
（ネットDELレシオ）	▲ 0.48	▲ 0.55	0.08
（自己資本比率）	30.9	27.7	3.3
（自己資本比率）※資本性ローン加味	36.2	33.4	2.8

5. フリーCF (簡易) 状況 : 2023年3月期 実績

フリーキャッシュフローは当期利益の黒字化に伴い、
前年の▲23.3億円から今期は12.8億円と36.1億円の改善。

	23年3月期 (実績)	22年3月期 (実績)	差異
+) 当期純利益	16.7	▲ 18.4	35.1
+) 減価償却費	19.5	22.0	▲ 2.5
-) 設備投資実施額	▲ 23.4	▲ 26.9	3.5
差引 フリーCF (簡易)	12.8	▲ 23.3	36.1

(単位 : 億円)

(※) 設備投資実施額 = 有形固定資産取得額 + 保証金差入額 + 無形固定資産取得額

グループ全体業績

2024年3月期
計画

取締役CFO

渡邊 将也

1. グループ業績：2024年3月期 計画

売上高・営業損益は前年実績を上回る水準である一方、助成金が無くなり、為替による影響も加味していないため、経常損益・当期純損益は減益で計画。

	① 24年3月期 (計画)	② 23年3月期 (実績)	①-② 前期比 増減	①÷② 前期比 率
売上高	823.0	779.2	43.7	105.6
営業損益	16.5	14.7	1.7	111.9
経常損益	18.5	38.8	▲ 20.3	47.6
当期純損益	14.5	16.7	▲ 2.2	86.6
一株当たり 当期純損益 (円)	36.3	41.3	▲ 5.0	87.9

単位：億円・% (▲は損失)

グループおよび各事業 主要取り組み

代表取締役会長 兼 社長

渡邊 美樹

1. 当社を取り巻く外部環境

日本経済を取り巻く環境

新型コロナウイルスは年初に一度落ち着き、客数も戻りつつあったが7月からの第7波で再度消費が冷え込んだ状況。

年末は3年ぶりに行動制限のない年末年始を迎え、3月にはマスク着用の緩和方針が発表された。

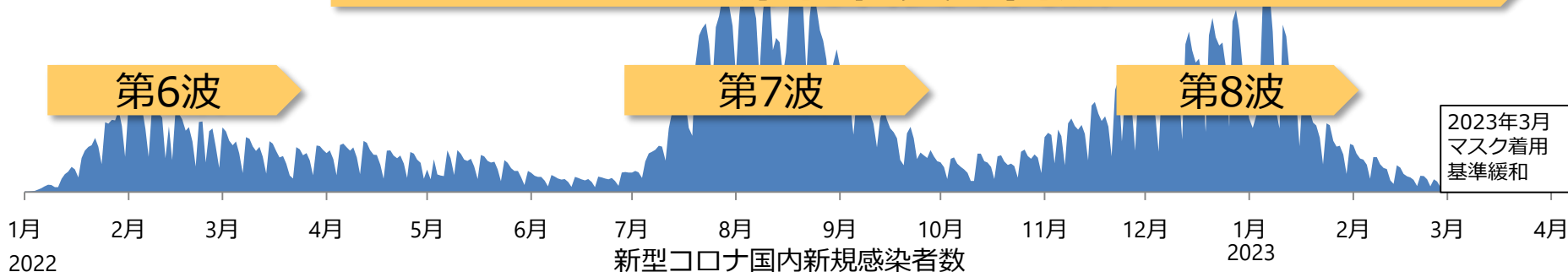
地政学的問題の長期化・円安の進行に伴い、エネルギー価格や輸入品の価格高騰、小売・外食各社で価格改定(値上げ)が相次ぐ年となった。

地政学的問題の長期化

円安の進行

エネルギー価格の高騰

原材料費の高騰



2. コロナ禍3年間の振り返り

2019年	10月	渡邊 経営復帰 (会長 兼 CEO)
2020年	2月	中国の「和民」直営店全7店の閉鎖を決定
	5月	居酒屋業態を中心に全店の13%にあたる65店舗の閉鎖を決定
	5月	ロピアと出向契約、人材派遣会社設立
	5月	和牛焼肉食べ放題店の「 かみむら牧場 」の1号店を東京・蒲田で開業
	6月	から揚げ業態の「から揚げの天才」のフランチャイズ展開が本格化
	10月	焼肉新業態「 焼肉の和民 」の展開を開始
	11月	全店の2割にあたる114店舗を21年3月末までに閉店すると発表
2021年	3月	祖業の居食屋「和民」の店舗をすべて閉鎖
	4月	宅食事業で渡邊会長が出演するテレビショッピングを開始
	7月	「から揚げの天才」、 100店舗目 を出店
	10月	渡邊 12年ぶりに社長復帰。会長 兼 社長に
	12月	すし業態「 すしの和 」を開業。5年以内に100店舗を目指すと宣言
	12月	居酒屋の新業態「 こだわりのれん街 」を開業
2022年	1月	「から揚げの天才」駅前中心に14店舗閉鎖。弁当メニュー強化
	2月	宅食事業でミールキットの新ブランド「 PAKU MOGU 」を開始
	2月	年内に居酒屋40店舗を閉店すると発表
	3月	焼肉の和民で値下げを実施。全商品税抜390円以下に
	7月	から揚げの天才が一部メニュー値上げ。カレーをリニューアル
	9月	宅食事業で新事業「 見守りサービス 」発表

2. コロナ禍3年間の振り返り 外食店舗数推移（国内＋海外）

	19年 下期	20年 上期	20年 下期	21年 上期	21年 下期	22年 上期	22年 下期	コロナ 期間計
期首店舗数	539	544	502	480	495	455	433	
新規出店数	30	57	50	29	29	20	12	<u>197</u>
撤退数	25	99	72	14	69	42	48	<u>344</u>
期末店舗数	544	502	480	495	455	433	397	

新規出店ペース：1,095日（3年）／197店 = **5.6日/店**

撤退 ペース：1,095日（3年）／344店 = **3.2日/店**

2. コロナ禍 3年間の振り返り ワタミの業績推移（半期ごと）

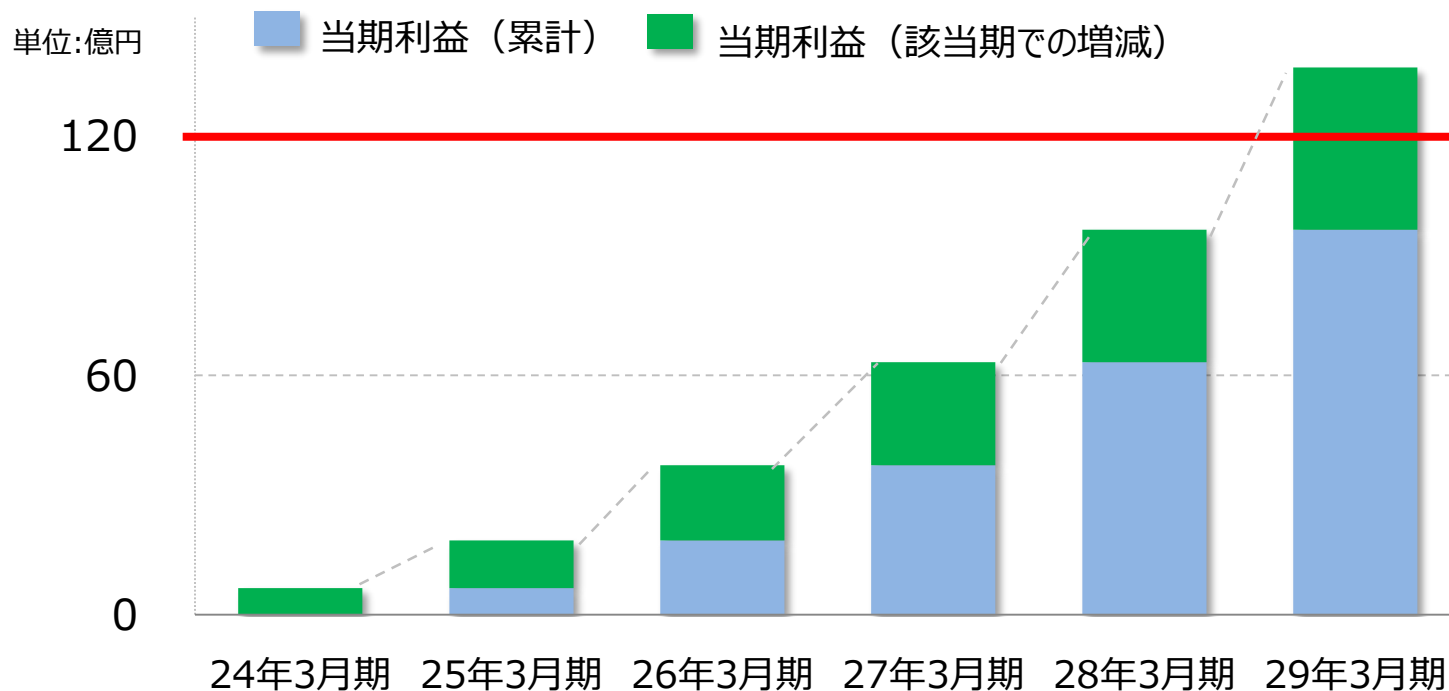
	19年 下期	20年 上期	20年 下期	21年 上期	21年 下期	22年 上期	22年 下期	22年 通期
売上高 (億円)	455.7	286.2	322.3	286.3	357.3	390.5	388.7	779.2
営業損益 (億円)	3.8	▲55.1	▲41.7	① ▲30.7	▲5.1	② 9.2	5.5	14.7
経常損益 (億円)	5.5	▲47.7	▲34.3	▲16.2	③ 42.9	③ 41.8	▲3.0	38.8
純損益 (億円)	▲23.9	▲71.5	▲44.4	▲30.0	11.6	④ 32.2	▲15.5	16.7

2. コロナ禍 3年間の振り返り ワタミの自己資本比率の推移

	19年 下期	20年 上期	20年 下期	21年 上期	21年 下期	22年 上期	22年 下期
自己資本 比率	34.1%	14.8%	7.0%	25.2%	27.7%	36.9%	30.9%

3. 今後の見通し（24年3月期～29年3月期までの利益計画）

29年3月期に120億円の返済完了予定
より強固な収益基盤の構築を目指す



3. 今後の見通し : 配当方針/第36期・第37期計画

<1株あたり配当額の推移>

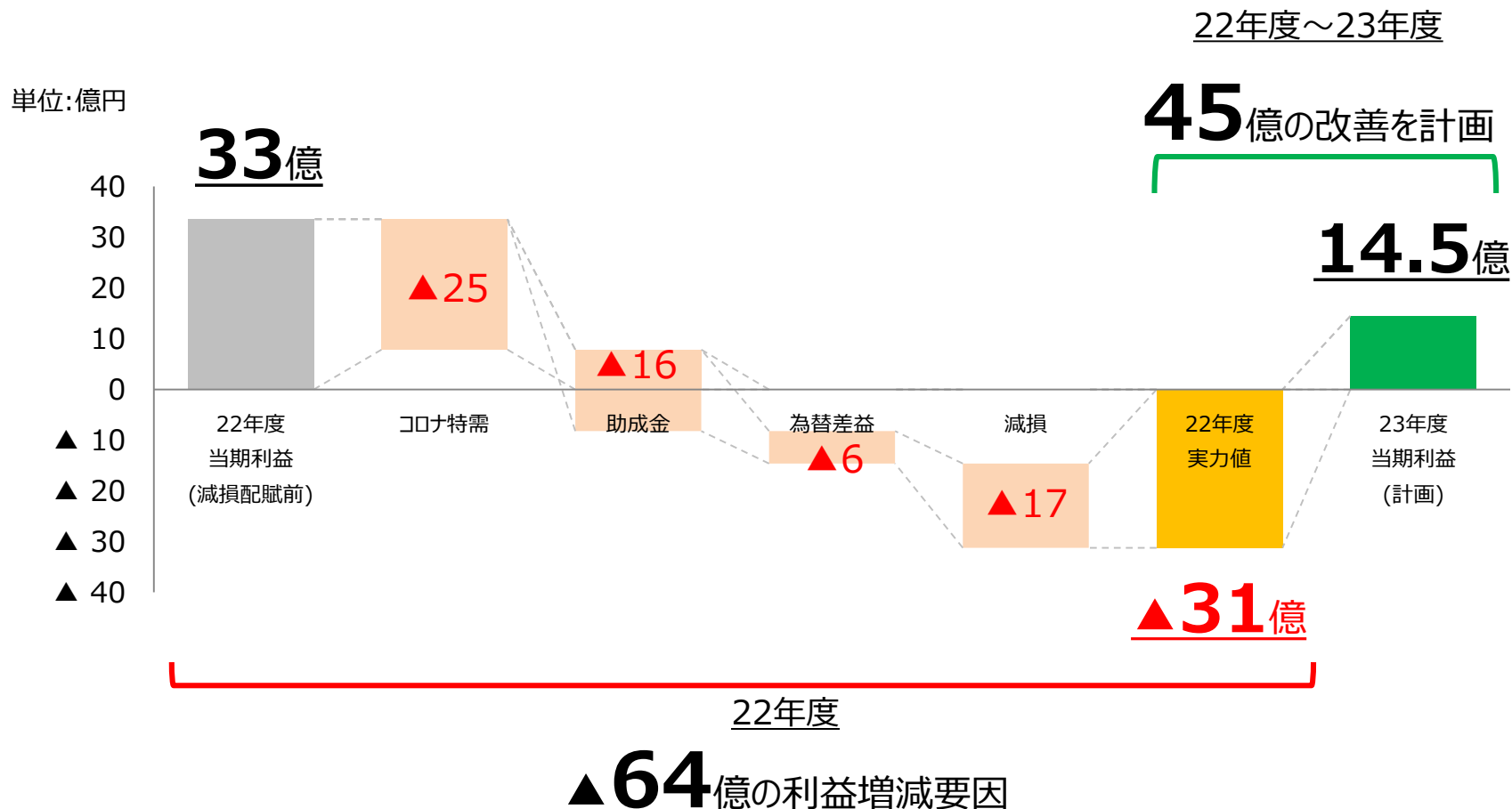
年度	第35期 21年3月期 (実績)	第36期 22年3月期 (実績)	第37期 23年3月期 (予定)
一株あたり 配当額 (円)	0	0	7.5

当期純損益 (計画 30億 → 実績 16.7億)

(主要因)

- ・自己株式の取得 : 6億
- ・為替差損 : 下期 11億
- ・減損計上 : 下期 13億

3. 今後の見通し（23年度（24年3月期）業績見込）



3. 今後の見通し（23年度（24年3月期） セグメント別の業績見込）

- Point 1 国内外食 前期赤字から業績回復・黒字化を計画
- Point 2 宅食 前期からの減益は前期のコロナ特需のため。(特需除くと3.5億の増益)
- Point 3 海外外食 前期赤字から業績回復・黒字化を計画
- Point 4 全社 減損（22年度17億）は見込んでいない

		24年3月期 (計画)	23年3月期 (実績)	前期比 増減	前期比 率
国内外食事業	売上高	315.0	252.8	62.1	124.5
	営業損益	0.5	▲17.8	Point1 18.3	—
宅食事業	売上高	410.0	437.6	▲27.6	93.6
	営業損益	35.0	57.2	▲22.2	61.1
	(除:コロナ特需)		31.5	Point2 3.5	111.1
海外外食事業	売上高	58.0	53.0	4.9	109.2
	営業損益	1.0	▲6.1	Point3 7.1	—

単位：億円・%（▲は損失）

4. 事業別取り組み：[1] 国内外食 居酒屋業態

居酒屋業態は平月も営業黒字体質へ

- ・不採算店整理により収益体質の改善

コロナ前70%の売上でも利益が出せる店以外は整理の判断

- ・客数回復のためのトライ＆エラー



忘年会キャンセル料無料



こだわりのれん街2号店



鳥メロ：お通し廃止実験



歓送迎会特別コース再開

22年度期末 **191店舗**

ミライザカ	88店舗
三代目鳥メロ	101店舗
こだわりのれん街	2店舗

10月～
コロナ前70%
キャッチアップ
(直近5月92.7%)

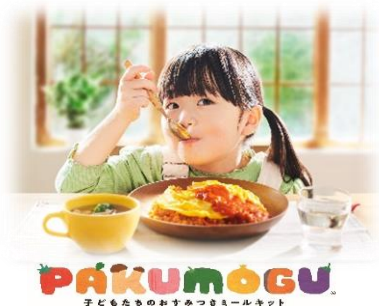
平月黒字化達成

居酒屋本部
(平月平均利益)
21年度 ▲3億/月
22年度 +0.3億/月

4. 事業別取り組み：〔2〕 宅食事業

昨年度導入した商品も含め、既存事業は堅調

「子ども商品開発部」監修ミールキット



累計**66万食**販売
(5月末段階)

食の細くなった高齢者向け弁当



まごころ**小箱**

累計**25万食**販売
(5月末段階)

「時短」にこだわるミールキット



累計**137万食**販売
(5月末段階)

市町村との地域見守り協定



312市町村
(3月末段階)

4. 事業別取り組み：[2] 宅食事業

新たなビジネスモデルにチャレンジ

高齢者のインフラ「見守りサービス」の拡大



1,000軒達成
(4月末段階)



自社冷凍総菜工場の立上げ

最大の差別化は「味」



4. 事業別取り組み：[3] 海外外食事業

円安を背景に海外マーケットへ積極的進出

【既存地域】

香港 金子半之助



シンガポール WATAMI Bugis+店

期末店舗数

22年度

計 **50** 店

23年度

計 **65** 店

【直営】

香港 22店
台湾 5店
シンガポール 6店

【FC】

フィリピン 16店
ベトナム 1店

新店 16店
撤退 1店

【新規地域】

「焼肉の和民」 米国進出



WATAMI
JAPANESE BBQ

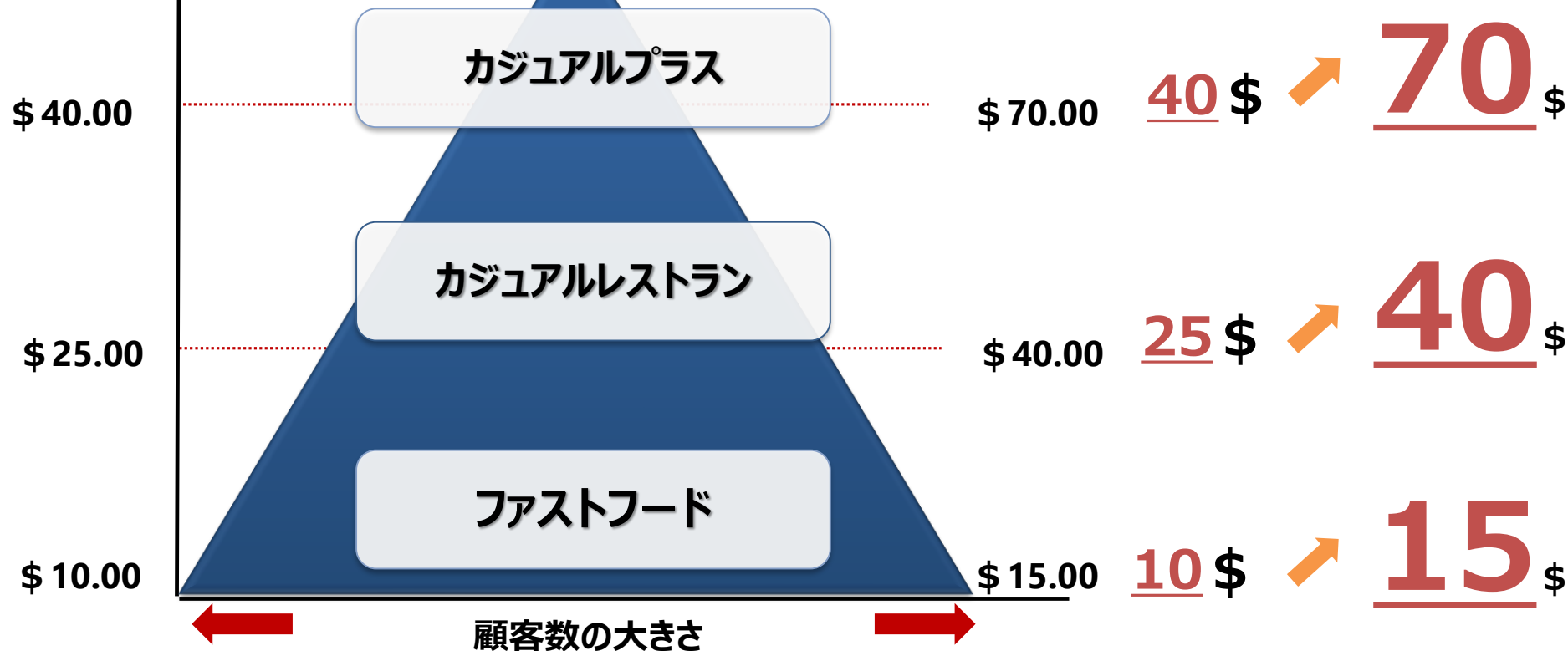


23年4月 アメリカ視察より：コロナ前と現在の客単価

客単価（\$）

コロナ前

現在



23年4月 アメリカ視察より：賃金の上昇

デル・タコ



$$\text{価値} = \frac{\text{商品力}}{\text{価格}}$$

商品力 キーワード

- ・素材
- ・健康
- ・手づくり
- ・安全安心
- ・チルド
- ・SDGs
- ・契約農家
- ・ストーリー性 etc



コンセプトとメッセージ性



パネラブレッド



プラントパワー



スイートグリーン



メンドシーノファームス

～ 私たちが紡ぐ物語 ～



私たちは

有機の土をつくり、有機の作物を育てる

生産性高く、安全安心な食品を加工する



笑顔とともに、圧倒的に価値の高い商品を提供する

未来の子どもたちのために、美しい地球を
美しいまま残すべく、環境と向き合う



未来の子どもたちに恥ずかしくないように
自然エネルギーをつかい普及させる

開発途上国の子どもたちの幸せに関わる



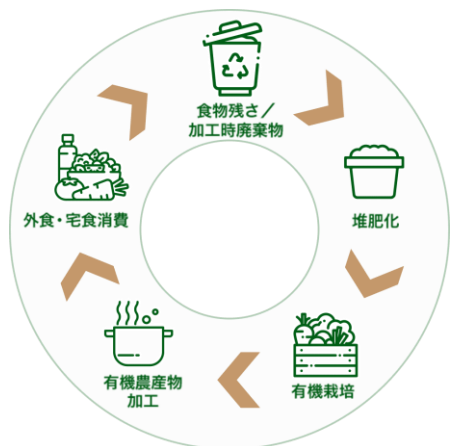
素敵な奇跡を起こす「夢」を応援し、私たち自ら
「夢」を追い、「夢」を叶える

日本の食文化を世界に広げる



6次産業モデル（ワタミモデル）をベースにした “ワタミオーガニック”のブランドの立ち上げ

有機農業参入から **23**年
圃場・牧場 **532**ha
(有機JAS圃場 **306**ha)



有機加工品3ブランド



美幌グラスフェッド



グラスフェッド乳製品



有機さく芋の加工品



国産有機農産物の加工品

ワタミの「夢風車 風民」発電開始 **10**年



2022年9月までの累計約47,869千kWhの再生可能エネルギーを発電。（約11,000世帯分が年間で使用する電気の量）

太陽光発電事業開始 **10**年



屋根置き太陽光発電所が全国 6 カ所で稼働しており、累計で約 6,500 千 kWh の再生可能エネルギーを発電。（約 1,500 世帯分 が年間で使用する電気の量）

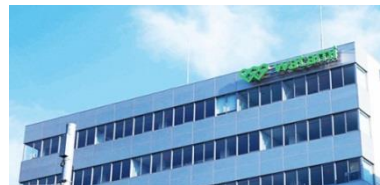


RE100に向けて

「再エネ100プラン」**300**拠点 供給達成

～居酒屋、工場、オフィスなど多様な拠点に供給～

【自社事例】



ワタミ本社ビル




ワタミ手づくり厨房 中京センター

【他社事例】

- 東京農村様
- DOG DEPT様
- 富士凸版印刷株式会社様
- 他 約100社

今後も自社施設はもちろん、パートナーシップによって他社様の施設も含めた「再エネ100」施設を広げてまいります

RE 100

A photograph of a busy Japanese restaurant. The scene is filled with people, mostly families, seated at long wooden tables. In the foreground, a young girl in a blue patterned dress is smiling and eating. To her right, another child is looking towards the camera. In the background, several other tables are occupied by people, including a man in a red shirt with a white logo and a woman in a white shirt. The restaurant has a warm, wooden interior with a polished floor. The text "「家庭の食卓」だから" is overlaid in the center of the image.

「家庭の食卓」だから

わたみのこだわりのれん街

23年10月 OPEN予定

～「ワタミの原点」を表現したコンセプトショップ～

RE100

有機

手づくり

サステイナビリティ

家族

リサイクルループ



5. ESG/SDGsへの取り組み

トピック



「第31回食品安全安心・環境貢献賞」受賞



- 日本食糧新聞社が主催する「第31回 食料安全安心・環境貢献賞」を受賞
- 「資源循環に向けた食品リサイクルループの構築」が高く評価され、受賞しました。

第2回JRECOフロン格付け 外食唯一のフロン格付けAランクに2年連続で認定



- 一般財団法人日本冷媒・環境保全機構によるフロン排出抑制法への取り組みをランキングする「JRECOフロン格付け」で2年連続のAランクを取得しました。
- 対象企業1,840社のうち、CSRレポートなどにフロンの算定漏れ量や定期・簡易点検等を適切に記載している49社がAランクに選出されています。外食事業としては唯一となります。

日経「SDGs経営」調査で星3.5に認定

- 外食産業では最高位を獲得
- 「ワタミ環境宣言」や温暖化、ガス、脱炭素の「RE100」への取り組みや消費電力での自然エネルギーの購入比率が上がったことが大きく評価されました。



SDGsで取り組み	達成すべきSDGsの目標
中食業界でいち早く取り組まれる地域に貢献	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100
農業事業・外食事業でオーガニック農業生産の食料提供で、地球環境と生産者・消費者の健康を守る	2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100
RE100を2040年までに実現し、脱炭素社会構築に貢献する	7, 13, 14, 15, 17, 18, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100
すべての従業員が国籍や性別・年齢・障がいの有無に関わらず、平等で公正な、それぞれの能力を活かし、働き甲斐のある職場を目指す	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100
ワタミグループ(1次産業農業×2次産業加工×3次産業販売)の食品のリサイクル率100%	12, 13, 14, 15, 17, 18, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100

環境レポート2022



ワタミホームページに「環境レポート2022」を掲載しています。

5. ESG/SDGsへの取り組み

ワタミ人権方針

事業活動に関わる全ての方々の人権を尊重するために「ワタミグループ人権方針」を定め、人権尊重の取り組みを推進。



■ 重点項目の取り組み

① 労働環境の改善

- 健康経営
- 新入社員へのサポート
- 業務の効率化への取り組み
- 勤務インターバル制度の導入
- 適正な労働時間管理

② ハラスメントの防止

- ハラスメント研修の実施
- 従業員アンケートと「夢を語る会」の実施

③ 救済へアクセスする権利の確保

- メンタルサポートダイヤルの設置
- 「ワタミヘルプライン」の設置
- 「代表取締役会長への直通ダイヤル」設置

④ ダイバーシティの推進

- 女性活躍推進の取り組み
- 外国人活躍推進の取り組み
- 出産・育児・介護への支援
- 障がい者雇用の推進
- シニア活躍推進

⑤ サプライチェーンの上の人権尊重

- お取引様・仕入れ先での人権侵害

5. 仲間とともに

従業員の幸せ日本一をめざして

「仲間と夢を語る会」

～社長・副社長と社員の直接の対話～

社長が幹部社員に対して直接研修を行い、また、副社長が全国を回り、社員の「夢」や「不安」「要望」などを直接聞く機会

22年度 計**118**回開催

参加社員 **957**名 満足度**94.9**%



トップによる
幹部向けの理念研修



(通期)離職率 **12.9**%

(※業界平均：25.6%)

(出典：令和3年雇用動向調査結果の概況：厚生労働省)



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営優良法人
2年連続で認定

5. ESG/SDGs への取り組み

ワタミモデルと3公益社団法人の取り組み





watami

地球上で一番たくさんの
“ありがとう”を集める
グループになろう



決議事項の説明

剰余金処分の件

(招集ご通知 44ページ)

剰余金処分の件

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式 1株につき	金 7円50銭
普通株式配当総額	299,882,423円
当社 A種優先株式 1株につき	金4,000,000円
A種優先株式配当総額	480,000,000円
配当総額の合計	779,882,423円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2023年 6月26日

取締役

(監査等委員である取締役を除く。)

3名選任の件

(招集ご通知 45～47ページ)

取締役（監査等委員である取締役を除く。）3名選任の件

取締役候補者は以下の通り

- ・渡邊 美樹（わたなべ みき）
- ・清水 邦晃（しみず くにあき）
- ・渡邊 将也（わたなべ しょうや）

議案に関する質問

決議事項の採決

剰余金処分の件

(招集ご通知 44ページ)

取締役

(監査等委員である取締役を除く。)

3名選任の件

(招集ご通知 45～47ページ)



watami

地球上で一番たくさんの
“ありがとう”を集める
グループになろう

